



みんなの文芸

俳句

ことぶき俳句会

少年の蹴散らしてゆく雪の道
冬晴れてテレビは物売る声す
買物も足もおもたき雪の道
カーナビに初売りの店おしえられ
凍て道や忘れられたる童話かな
着ぶくれてさらに重ねる物忘れ
紅白の北島三郎だけ眼をあけて
ざらつとしたものを挿んで寒鴉

稲田 文江
大山みどり
越坂 順子
長谷川アキ
福原 仁子
松尾枝実子
渡邊 道
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

寝返りを打って夜明けの刻を待つ
臍気な温もり紐解く故郷の地図
手遅れだ○に近い△を生きるんだ
夢を追い爪跡消して今生きる
日曜日誰か来るかと米を研ぐ
世間並み生きて気が付きゃ八十路坂

山村 幹雄
阿部 麗紅
柴田 弘子
星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子

川柳

上浦幌句の会

元旦に家族揃いお神酒飲む
冬来たる寒さ到来火が恋し
災害のない地に住めて有難き
秋深し栗の実一つしがつつき
ハツカ御殿昔暮らしの古品展
霜知らず雪の顔見る収穫期
元氣そうね言われた顔が落葉色
花壇納め肉鍋囲み話し咲く

高橋 幹雄
河村みよ子
笹島カヨ子
芳川 乙美

短歌

心友愛会

一月も終わりと云うに雪もなく
窓の下では枯葉がとびて
雪の上小鳥がおとした赤い実を
眺めて我は心なごます
釧路にて孫に囲まれ年を越す
出来て楽しいお正月も過ぎ
年明けて歳ますごとに鈍くなり
皆に甘えて明るくおくる
世の中の移り変わりも進歩して
若者の唄に付いて行けない
九十路の坂越え逝く兄ありて
淋しさつのる我の行く末
朝日差すカーテン引けばスズメなく
餌をねだりて今日が始まる
娘きて孫を預かり一日が
気をはりつづけ雪だるま増え
雪道を仲間の元へ楽しみに
事故らぬように車を走らす
雪の日が少なくままに仕事へり
喜ぶべきか楽しんで太る

堀井あやの
富田さた子
小澤 つや
小川 房子
前川 静江
長屋美代子
山岸 明美
山久保敬子
千葉 光江
浅野 京子
角田美代子
杉山 未樹
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、しらかば保育園の節分豆まきのひとコマです。豆まきが終わり、降参した鬼とじゃんけんゲームを行いました。勝つたら握手、負けたら：ギョツとハグされます。一人で鬼の前に行くのはやっぱり怖いみたいで、なかなか前に進めません。それでも先生の力を借りて、なんとか鬼の前へ…。泣いちゃったけど、しっかりジャンケンもして、勝って握手して：最後までやりきることができました！みんな頑張ったネ！！

■冬季オリンピックが開催中です！この広報が皆さんのお手元に届くころには終了しています。北海道はもちろん、浦幌に縁のある選手も参加していますので、応援で寝不足の方もいらつしやるのでは？

■まだまだ寒い日が続いています。風邪などひかぬよう、体調管理をしっかりとしましょう。

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。